

あなたの心に寄り添う 仙台傾聴の会

企画・発行

NPO法人仙台傾聴の会

代表 森山 英子

携帯 090-6253-5640



傾聴だより



震災から10年記念誌 発行

被災者からの「聴き書き」掲載

東日本大震災から10年になり、特に被災者の方々の、今だからやっと思わせるとの声も聞かれることから「聴き書き」という形で編集することにしました。10年の月日は、当仙台傾聴の会の会員が被災者の方々に寄り添い、各避難所、各仮設住宅集会所、そして、各復興住宅集会所、と場所をかえて、お話をお聴きしてきた日々でもあります。

年月が経つうち、辛い、悲しいなどのお話を聴くことよりお茶を飲みながらの世間話などで楽しく過ごした時間もありました。ただ、それが被災者の方たちの心の内ではありません。震災のあの日を引きずって、それでも笑顔で参加していました。「聴き書き」に賛同して頂いた住民の方は決して多くはありませんが、それでもテレビの映像やメディアを媒体にした被災地の情報でしか知らなかった私たちには、本当の津波の恐ろしさ、その後に来る絶望的な悲しみと明日の見えない日々を抱えた現実など、知ることなかったあの日がありました。

そして今は、被災されたどの方も口にするのは「あの時は皆さんに助けられた、本当に有り難かった。ありがとうございます」「感謝の気持ちしかありません」「前向きに生きていくのが恩返しだと一生懸命頑張っています。」そんな感謝の言葉を沢山お聞きしました。

確かに全国からの援助、ボランティアの方々、自衛隊の人達には力をもらったなどと、皆さんはその頃のことを思い出しながら涙ぐみます。

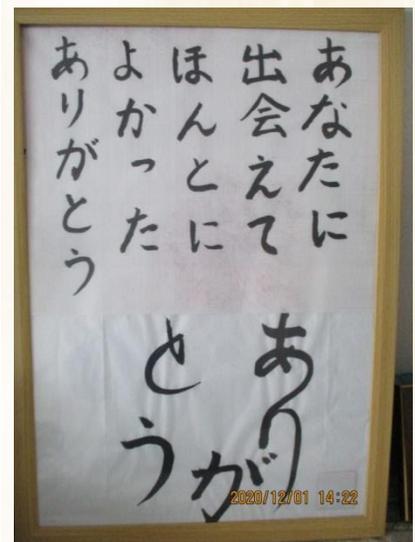
そのような皆様方からは、お礼の為にも、この「聴き書き」に協力しますと言われ、大変有難く思っております。

「聴き書き」編集委員は各支部から計10名参加し、昨年9月からこの記念誌発行の為、何度か会議を開き「聴き書き」を積み重ね原稿を纏めてまいりました。

10年になるこの時に、あの3・11を今一度振り返り、この記念誌を手にとって頂けることを願っています。



3月発行 記念誌



名取市美田園在住

高橋香代子さんの書

「下手ですが当時の気持ちを伝えたかった」。

丸森養成講座 開催

(令和3年1月16日付 河北新報掲載)

1月15日(金)23名、22日(金)22名参加 於:丸森町館矢間まちづくりセンター
(1日4時間、3日間コースの養成講座を6時間で終了)

2019年台風19号で被災された方々への支援活動はまず、傾聴ボランティア養成講座を受講してから、活動参加への目的で実施されました。70代、80代の方も多数参加され、その熱意には感銘を受けたほどです。(報告:研修部 橋爪千穂)

(15) 16版 みやぎ 2021年(令和3年)1月16日(土曜日) 河北

被災者の心を 傾聴で支える

丸森町社協

台風19号

2019年10月の台風19号で被災した住民を支援しようと、丸森町社会福祉協議会(町ボランティア連絡会)は16日、館矢間まちづくりセンターで、傾聴ボランティア養成講座を開いた。受講者は、町内のプレハブ仮設住宅団地で入居者の話に耳を傾ける見守り活動を、月内にも始める。東日本大震災の仮設住宅や災害公営住宅での支援実績があるNPO法人「仙台傾聴の会」(名取市)が講師。森山英子代表理事が「受容的態度で聴けば相手は心を開き、問題解決へ一歩を踏み出せる。相手の価値観を尊重しよう」と呼び掛けた。受講生約20人が数人ずつの一組となり、相手の話に共感して理解を深める実習に取り組んだ。

ボランティアを養成

丸森町の仮設住宅団地では、仙台市の支援団体が交流の場を開き、入居者の見守りを続けている。受講生も今回の講座を経て活動に加わる。同日内容の講座が22日にもあり、30人ほどが受講する見込み。

受講生は以前から各地域のボランティア団体で活動している。町社協の担当者は「自分の地域は自分で支えたいとの気持ちで参加してくれた。活動を通してボランティア自身も成長できる」と話した。

傾聴の手法を学ぶ受講生たち

みや

電話相談養成講座 開催

令和2年11月22日、29日 於:仙台福祉プラザ
講師:北条久也氏



(36年間、宮城県内の小学校、特別支援学校に勤務され、電話相談、教育相談に長年関わる北条久也先生と参加会員。)

新型コロナが世界的に蔓延し、当会の活動も昨年からは休止の状態です。その為に電話相談枠が増設となり、その重要性が求められることとなりました。

電話相談に関わる話の聴き方、対面ではない話の聴き方、ワークショップやロールプレイングも含め、丁寧で充実した実りある研修となりました。

傾聴は基本であり、お一人、お一人の人生に耳を傾け、聴く力、心の広さと柔軟性を磨いていく事が大切である。

「真の発見の旅は、100の地球を見る事ではなく、100の異なった眼でこの地球を見ることだ。」

自ら成長に向けて、その成長を相手の方に寄与するような心掛けを持ちながら活動を続けていけたらと思います。

報告:仙台中支部 武田智子

令和3年 傾聴の会 活動案内

※ 新型コロナの状況により、急きょ中止の場合もあります。事前にお確かめください。

傾聴サロン（対面での個別 相談）

要予約 ☎090-6253-5640

仙台市福祉プラザ

第1 土曜日 10:00~15:00

岩沼市総合福祉センター

第3 水曜日 10:00~15:00

名取市市民活動支援センター

第3 日曜日 10:00~15:00

塩釜市一番館、または旧公民館

第4 日曜日 10:00~15:00

傾聴茶話会（予約不要）

仙台市市民活動サポートセンター4F

11月 第2 土曜日

14日 13:30~15:00

12月 第2 土曜日

12日 13:30~15:00

※ 福島県二本松市カフェ

南相馬市カフェ

福島県内の二つのカフェは不定期に開催しています。

傾聴カフェ（予約不要）

あすと長町市営住宅 1F 集会所

第1 水曜日 13:30~15:00

あすと長町第2 復興住宅 1F 集会所

第3 月曜日 13:30~15:00

あすと長町第3 復興住宅 1F 集会所

第3 土曜日 13:30~15:00

田子西第二復興住宅 1F 集会所

第4 金曜日 13:30~15:00

名取市 増田公民館（名取駅東口）

第2 木曜日 10:30~11:30

名取市 美田園北集会所

第2 水曜日 10:00~11:30

名取市 高柳集会所

第4 月曜日 10:00~11:30

名取市 高柳東団地復興住宅（談話室）

第4 金曜日 10:00~11:30

岩沼市たけくま集会所

第2 火曜日 10:00~11:30

玉浦コミュニティーセンター

第4 水曜日 10:00~11:30

亘理町上浜集会所 第1 金 10:00~11:30

会員募集

仙台傾聴の会のさまざまな事業や活動は、会員の方々の「誰かの役に立ちたい」という情熱と努力によって成り立っています。仙台傾聴の会の趣旨に賛同し、活動をともにできる方、または、応援して下さる方を募集しております。

●正会員（傾聴ボランティアとして活動して頂ける方）

会費： 3,000 円/年（ボランティア保険を含む）

●賛助会員（資金面で援助して下さる方）

会費： 3,000 円~/年 個人一〇

5,000 円~/年 団体一〇

NPO 法人仙台傾聴の会までお問合せください。

編集後記

フキノトウを方言でバツケと呼ぶ。

今年の東北は例年になく雪が多い。

東北の冬は長く、深い雪の中で春を待っている。

けなげで雪の下から頭をもたげるフキノトウが待ち遠しい。

深い雪が解けて消えるように、コロナ疲れが癒され、新年度を迎えたいと願う。

編集委員： 篠原（北） 児玉（南）

武田（中） 千葉（岩） 嶋脇（名）

電話での傾聴も受け付けています

火、木、土は

080-3199-4481

月、水、金は

070-2025-8200

（10:00~16:00まで）



NPO法人仙台傾聴の会

代表理事 森山 英子

〒981-1232

名取市大手町五丁目6-1 名取市市民活動支援センター内

☎090-6253-5640 / Fax 022-343-9705

Eメール moriyama-e@r.tulip.sannet.ne.jp



ホームページ [http:// sendai-keicho.sakura.ne.jp/wp/](http://sendai-keicho.sakura.ne.jp/wp/)